

株主 通信

大切な生命を、守る人の環境づくりを、これからも。



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS

第18期

2009年4月1日 ▶
2010年3月31日

シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード:3360

収益4項目全てにおいて過去最高益を達成



代表取締役社長
古川 國久

経営環境について

当期におけるわが国の経済は、年度後半から徐々に景気回復の兆しが見えてまいりましたが、先行きは依然として厳しい状況にあります。

当社グループの属する医療業界では、本年4月から小幅ながらも診療報酬が増額改訂され、消費マインドの改善に期待が出来るものの、償還価格や薬価の引下げによる病院からの価格下げ圧力により、メーカーや販社にとりましては依然として厳しい状況にあります。

また、病院経営そのものも、高齢化社会への対応、高度医療の普及、地域医療の再構築など様々な観点からの抜本的な改革が求められ、大きくドラスティックに変わりつつあります。当社グループでは、この市場構造の変革に対し、グループ経営を強化して、旧来の慣習を超えたイノベーターとしての視点をもとに、医療業界へのトータルサポート、そして社会への貢献を目指してまいります。

業績について

このような経済状況のもと、当社グループは新たに酒井医療(株)の業績が加わったこと、メディカルサプライ事業における診療材料販売会社の業績向上による高付加価値化が進んだこと、介護付有料老人ホームの入居者が高水準で推移したこと、調剤薬局の新規店舗出店や経費削減、調剤技術料の確保等により順調に推移いたしました。

この結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全ての項目において創業来最高収益を達成することができました。

また、期末配当金につきましても収益力の改善や負債圧縮等の財務状況の改善に取り組んだ結果、一株当たり500円増配し普通配当2,150円とさせていただくことができました。

株主の皆様のご理解に感謝いたしますとともに、今後とも安定配当の継続を基本方針に考えております。

企画力の強化と業容拡大

今、医療業界は大きく変化しております。医師不足、看護師不足、設備の老朽化の中で、個々の病院のあり方だけでなく、中核病院を核にした地域医療においても、旧来の路線を超えた新しいあり方が求められてきております。こうした業界環境と社会的要請の中で、大きく動き出しているのが地域医療におけるネットワーク連携です。この構想は、地域内における様々な役割を持つ医療機関が連携し、地域医療として最適のネットワークをつくり上げていこうというものです。

そして、この構想の実現に向けて、実際に複数の企業が参加するプロジェクトが発足しております。また一方で、地域の中核病院においても、寄せられるニーズが多様化し、従来のスタイルを単に改善することだけではこと足りない状況が生まれてきております。当社グループでは、このような医療業界の大きな変化の中で、今まで培ってきた経験、ノウハウを活かし、“企画力”を強化することで、リーディングカンパニーとして活躍してまいります。

ワンストップソリューションの拡充

当社グループはこのような医療業界の変化の中で、持株会社体制への移行に伴う組織改革、運営効率化、コスト管理体制の強化、取り扱い商品の高付加価値化を推し進めてまいりました。また、グループ各社連携によるシステムの効率化と新商品開発、相互連携による新たなビジネスモデル構築と販路拡大策を展開いたしました。

さらに、リハビリ機器及び特殊浴槽の老舗メーカーである酒井医療(株)の株式を取得して連結子会社化し、メーカー3社(医療ガス配管設備・手術室施工、無影灯製造、リハビリ機器・特殊浴槽製造)が揃ったことで、川上(コンサルティング・メーカー機能)、川中(物流機能)、川下(調剤、ヘルスケア等周辺ビジネス)の全ての過程において、医療機関のニーズに当社グループがワンストップで応えられる体制を構築し、中長期的成長の基礎を築くことができました。

メーカー系の取組み

当社グループは創業以来コンサルティング、商社機能を中心に医療機関とのパートナーシップを築いてまいりましたが、ソリューション能力をより高めることを企図し、メーカー系子会社の強化を進めてまいりました。医療ガスパイピング・手術室施工の(株)セントラルユニのグループ化を皮切りに、無影灯製造で国内シェアトップである山田医療照明(株)、特殊浴槽・リハビリ機器製造の酒井医療(株)と、医療設備メーカー御三家といわれる会社がグループ入りしたことで病院の設計段階からのソリューション能力が飛躍的に高まりました。また、これらメーカー系子会社の協働により新しいタイプのモデルルームであるスキルシミュレーションセンターが稼動し、実体験に基づく商品の選定ができるなど、医療関係者から好評を博しております。

さらに、海外への商品提供を視野にいれるとともに再生医療への注力など、新たなビジネス展開も始まっております。

グループ理念

S.H.I.P.

Sincere + Humanity + Innovation + PartnerSHIP
(誠実な心) (「情」の心) (革新者の気概) (パートナーシップ)

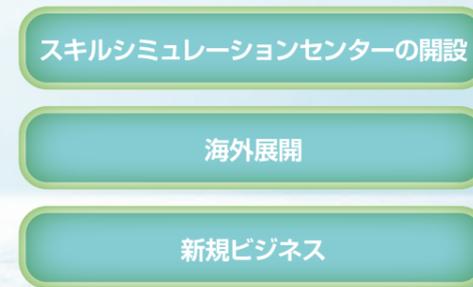
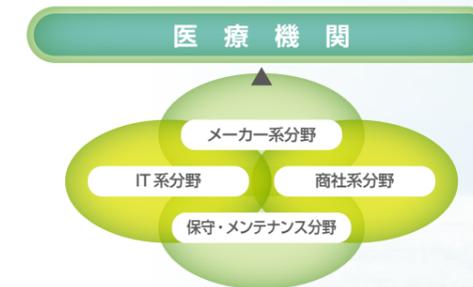
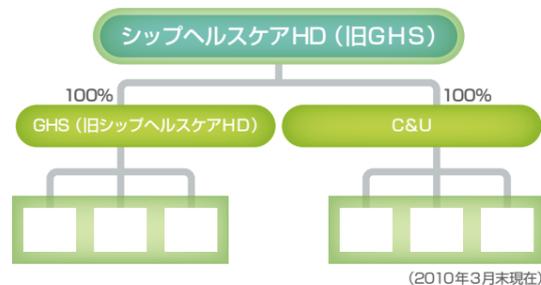
「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。
シップヘルスケアグループはいつも Your Company です。

2010年度スローガン

!! 自立自主 !!
ドレミファソラシド

IFRS導入 コンバージェンススタート

シップヘルスケアグループ



企画力を強化し、既存ビジネスの深耕と新しい市場の開拓を目指す。

『進化』と『成長』はとまらない

SSC(スキルシミュレーションセンター)の稼働

お客様に
「あるもの」「欲しいもの」ではなく
「役に立つもの」を提供し
顧客価値を追求する

日本の医療機器の発展を支えてきた歴史のある東京・本郷に、SSC(スキルシミュレーションセンター)を開設いたしました。高度治療エリアを中心に最新の手術室、ICU、無影灯、その他運営コーナーの4ブロックで構成されており、効率的に運用をサポートする高機能なシステムや製品、医療機器などを展示しております。医療関係者をはじめとしたお客様に数多く来場いただいております。高度治療エリアにおける効率的で快適な治療環境づくりを体感いただき、お客様と一緒に、病院づくりを進めております。当社グループではこのように日々変化する治療環境を捉え、物・システムづくりを追求することで市場を創造し、今後もSSCをメーカーグループの情報発信基地として活用してまいります。



手術室エリア



FLEXDOCK



TruSystem

無影灯エリア



i-LED



R9

ICUエリア



iGRiD concept

酒井医療株式会社のグループ参画

メーカー系御三家が揃う

酒井医療(株)が、2009年10月に当社グループに参画いたしました。1881年の創業以来、「初雪をかく」という経営理念のもと、日本のリハビリテーション領域を中心に市場を創造してきました。現在は、病院・介護福祉施設向けの身体機能に合わせた各種入浴装置および機能回復、ADL改善、在宅復帰のためのリハビリテーション機器分野をコア事業としています。

当社グループではこの歴史ある酒井医療(株)をグループに迎え入れたことで、(株)セントラルユニ、山田医療照明(株)と合わせ、業界トップクラスのメーカー系ユニットを揃え、設備メーカーとしての付加価値を広範囲な分野で提供することが可能となりました。

酒井医療(株)の事業の特色は、医師、看護師、療法士ほか現場の専門職の方々とともに、生活の質向上のためのリハビリテーションを考え、機器や手法を開発、提供していることです。入浴装置は、患者さん、高齢者の方たちの身体機能に合わせ、寝たままの担架タイプ、車椅子タイプ、リフトによる介助タイプなど10数種類のラインアップを展開しています。リハビリテーションは、機能回復からADL改善、在宅復帰さらには生活習慣改善や疾病予防にまで及びます。現在、酒井医療(株)では、従来の製品に満足することなく、世界最先端の技術を導入するとともに、医療環境の変化に沿った新しい提案を行っております。

2つのコア事業

入浴装置事業

リハビリテーション事業



ライラック



アリッサム



パンジー i



テレマイオ G2



ホリゾンタルレッグプレス



膝用CPM

■ 連結貸借対照表

	当 期 2010年3月31日現在	前 期 2009年3月31日現在	前期比 増減額
【資産の部】			
流動資産	77,312	58,005	19,307
現金及び預金	11,588	9,780	1,807
受取手形及び売掛金	52,941	34,713	18,228
商品及び製品	5,736	5,270	466
仕掛品	1,791	2,126	△ 334
原材料及び貯蔵品	803	410	393
繰延税金資産	932	675	256
短期貸付金	950	1,136	△ 185
その他	2,921	4,034	△ 1,113
貸倒引当金	△ 353	△ 141	△ 211
固定資産	37,306	43,567	△ 6,260
有形固定資産	23,618	25,703	△ 2,085
建物及び構築物	7,167	8,095	△ 928
機械装置及び運搬具	190	177	12
土地	5,841	6,670	△ 829
貸与資産	48	107	△ 58
賃貸不動産	9,288	9,628	△ 339
建設仮勘定	—	284	△ 284
その他	1,081	739	342
無形固定資産	957	6,702	△ 5,745
のれん	490	6,110	△ 5,620
その他	466	591	△ 125
投資その他の資産	12,731	11,161	1,569
投資有価証券	2,575	1,624	950
長期貸付金	8,445	7,650	794
繰延税金資産	529	729	△ 199
破産更生債権等	274	289	△ 15
差入保証金	2,413	2,202	211
その他	610	644	△ 34
貸倒引当金	△ 2,117	△ 1,979	△ 137
資産合計	114,619	101,573	13,046

	当 期 2010年3月31日現在	前 期 2009年3月31日現在	前期比 増減額
【負債の部】			
流動負債	64,157	55,557	8,600
支払手形及び買掛金	42,729	30,496	12,232
短期借入金	6,245	11,915	△ 5,670
1年内返済予定の長期借入金	5,709	4,229	1,480
未払法人税等	1,913	1,493	419
繰延税金負債	15	11	3
賞与引当金	943	738	205
役員賞与引当金	—	18	△ 18
その他	6,602	6,655	△ 52
固定負債	25,951	22,480	3,470
社債	4,488	1,486	3,002
長期借入金	18,390	18,485	△ 94
退職給付引当金	1,449	1,105	344
役員退職慰労引当金	100	156	△ 56
繰延税金負債	559	299	259
その他	963	948	15
負債合計	90,109	78,038	12,071
【純資産の部】			
株主資本	23,466	17,425	6,041
資本金	5,667	5,667	—
資本剰余金	10,036	6,593	3,443
利益剰余金	7,764	5,165	2,598
自己株式	△ 1	△ 1	—
評価・換算差額等	770	174	596
その他有価証券評価差額金	778	208	569
為替換算調整勘定	△ 7	△ 34	26
新株予約権	—	2	△ 2
少数株主持分	272	5,933	△ 5,660
純資産合計	24,509	23,534	975
負債純資産合計	114,619	101,573	13,046

(単位: 百万円)

■ 連結損益計算書

	当 期 2009年4月 1日~ 2010年3月31日	前 期 2008年4月 1日~ 2009年3月31日	前期比 増減額
売上高	140,009	118,604	21,405
売上原価	120,869	103,118	17,751
売上総利益	19,139	15,485	3,654
販売費及び一般管理費	13,439	11,860	1,578
営業利益	5,700	3,625	2,075
営業外収益	1,325	1,062	262
営業外費用	883	926	△ 42
経常利益	6,142	3,761	2,381
特別利益	658	2,181	△ 1,522
特別損失	1,069	1,576	△ 506
税金等調整前当期純利益	5,732	4,366	1,365
法人税、住民税及び事業税	2,503	1,977	525
法人税等調整額	△ 195	90	△ 285
少数株主利益	269	245	24
当期純利益	3,154	2,053	1,101

(単位: 百万円)

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

	当 期 2009年4月 1日~ 2010年3月31日	前 期 2008年4月 1日~ 2009年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,776	5,133
投資活動による キャッシュ・フロー	3,184	8,596
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,242	△ 12,236
現金及び現金同等物に 係る換算差額	9	△ 15
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,727	1,477
現金及び現金同等物の 期首残高	8,793	7,105
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	△ 35	211
現金及び現金同等物の 期末残高	10,485	8,793

(単位: 百万円)

■ 主な経営指標の推移(連結)

	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3(予想)
売上高	62,229	78,845	105,871	118,604	140,009	145,000
営業利益	3,229	3,297	2,979	3,625	5,700	6,000
経常利益	3,327	3,643	3,045	3,761	6,142	6,500
当期純利益(△純損失)	1,696	2,468	△ 3,767	2,053	3,154	3,700
総資産	64,435	90,213	107,317	101,573	114,619	—
純資産	18,316	25,726	21,202	23,534	24,509	—

(単位: 百万円)

トータルバックシステム事業

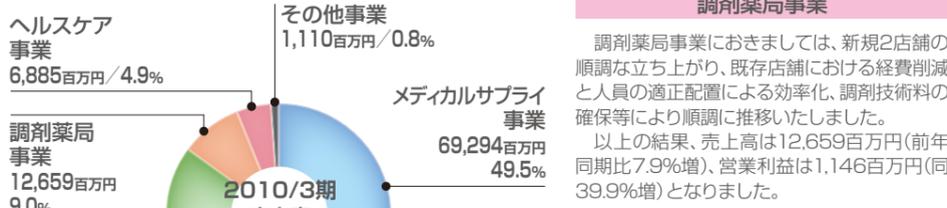
トータルバックシステム事業におきましては、プロジェクト案件が計画通り進捗したことに加え、第3四半期連結会計期間より新たに連結子会社となった酒井医療(株)の売上が加わりました。また、メーカー系子会社の協働によってオープンした新しいタイプのモデルルームは、関係各方面からの好評を博し、新商品の開発・販売も順調に推移いたしました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、販売数量増加に伴い売上高も順調に増加いたしました。また、循環器系診療材料販売会社の収益が順調に拡大し、高付加価値化が進んだことにより増収増益となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、期初より入居者数が損益分岐点を超え、全7施設(定員1,308名)における期末入居者数は1,140名まで増加する等計画通り推移いたしました。また、食事提供サービス事業も大型の医療施設をはじめとする新たな契約先を獲得して増収増益となりました。



ヘルスケア事業
6,885百万円/4.9%

調剤薬局事業
12,659百万円/9.0%

その他事業
1,110百万円/0.8%

メディカルサプライ事業
69,294百万円/49.5%

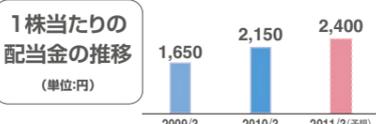
トータルバックシステム事業
50,059百万円/35.8%

2010/3期
売上高
140,009百万円

その他事業
その他事業におきましては、動物病院は周辺動物病院との連携が進み、当病院の保有する高度画像システムによる読影依頼等が増えております。これに加え、手術数や新規顧客数が増加いたしました。また、理化学機器分野につきましては、減収となったものの、利益につきましては計画通り推移いたしました。

■ 配当について

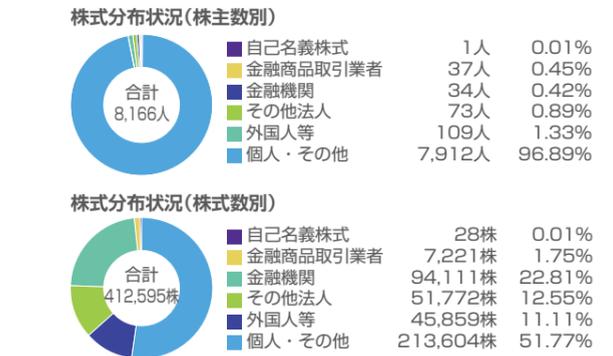
当期の期末配当につきましては従来予想の1株当たり1,650円から500円増額し2,150円とさせて頂きました。今後も安定かつ継続的に業績の成長に見合った成果の配分をすることを基本方針に配当を行ってまいります。



■ 株式の状況

発行可能株式総数	640,000株
発行済株式総数	412,595株
株主数	8,166名

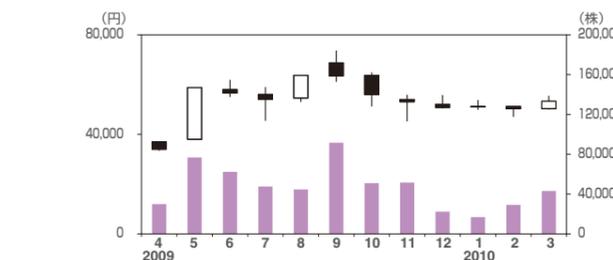
■ 株式分布状況



■ 大株主

	[保有株式数]	[保有割合]
(有)コッコー	33,819株	8.19%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	20,928株	5.07%
古川國久	20,285株	4.91%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	19,300株	4.67%
古川幸一郎	15,850株	3.84%
春日興産合同会社	14,000株	3.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	13,381株	3.24%
増田 貞満	12,327株	2.98%
従業員持株会	11,215株	2.71%
資産管理サービス信託銀行(株)	9,353株	2.26%

■ 株価



株式関連情報 2010年3月31日現在

Stock Information

業績の概要 Outline of Business Results

会社情報 (2010年3月31日現在)

株主メモ

■ 会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
設立 1992年8月
代表取締役社長 古川 國久
資本金 56億6,708万円
決算月 3月
従業員数 連結2,189名
本社所在地 〒565-0853
大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130
FAX : 06-6369-3191

■ 役員 (2010年6月25日現在)

代表取締役社長	古川 國久
専務取締役	増田 宏
取締役	小川 宏
取締役	播戸 健
取締役	小林 宏
取締役	大橋 行
取締役	沖本 太
取締役	横山 一
取締役	細川 賢
社外取締役	和田 義
常勤監査役	竹原 靖
社外監査役	水野 昌
社外監査役	大山 博

■ 当社ホームページのご紹介



HOME (左) …… <http://www.shiphd.co.jp>
IRトップ (右) … <http://www.shiphd.co.jp/ir/index.html>

今後も株主の皆様をはじめ、より多くの方に当社ならびにシップヘルスケアグループに関するご理解とご関心をお持ちいただけるよう、様々な情報を分かりやすく、そして迅速に掲載してまいります。

事業年度	4月1日～3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月中
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	住友信託銀行株式会社 (旧 グリーンホスピタルサプライ (株) の株主様) みずほ信託銀行株式会社 (旧 (株) セントラルユニの株主様)
同連絡先	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shiphd.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、住友信託銀行並びにみずほ銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)
<http://www.shiphd.co.jp>



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS

アンケートのお願い

当社では、株主の皆様からいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ①1ヶ月以内 ②2～5ヶ月前
③6ヶ月以上前 ④1年以上前
⑤株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ①中長期的に保有する ②短期で考えている
③買い増しする ④投資収益に応じて売却する
⑤未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われるか? (上位3点をお選びください)

- ①規模の拡大 ②ビジネスモデルの強化
③経営の効率化 ④収益性 ⑤安定性
⑥株主政策の強化 ⑦その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われるか?

- ①株主通信 ②ホームページ ③株主総会
④個人投資家向け説明会の開催
⑤その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ①社長メッセージ ②トピックス
③連結財務諸表
④業績の概要
⑤会社情報及び株式関連情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ①大変満足している ②ある程度満足している
③普通 ④あまり満足していない ⑤不満である

Q7 その他、ご意見・ご要望等をご自由に記入ください。

アンケート